

2024.1.18 (木)  
第25回例会  
(通算3740回)

# 2023-2024 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「地域を愛し、未来を語る ロータリーの輪を広げましょう」

第85代会長 後藤 公貴  
副会長 樋口 貴広  
幹事 佐藤 貴之  
編集責任者 クラブ会報・雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00  
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル  
事務局 釧路市錦町5-3 ミツ輪ビル2F  
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2023-2024 年度  
国際ロータリーテーマ



世界に希望を生み出そう  
2023-2024 年度  
RI会長 ゴードン R. マッキナリー  
第2500地区ガバナー  
鶴見 誠一郎 (紋別港 RC)

月間テーマ

職業奉仕月間

本日のプログラム

「上期を振り返り下期に向けて」(理事会)

次週例会

「日銀釧路支店長 支店長講話」(プログラム委員会)

- ロータリーソング：四つのテスト
- ソングリーダー：東堂 光春君
- 会員数 100名
- ビジター
- ゲスト

## 会長の時間

後藤 公貴会長

冒頭に悲しいお知らせをしなければなりません。過日、クラブよりご案内がありましたとおり、当クラブ会員・泉 敬君が1月13日土曜日、後5時15分にご逝去されました。享年は91歳です。



1960年11月11日に釧路ロータリークラブにご入会。1992-1993年年度クラブ会長を務められ、その他に財団法人嵯峨記念育英会の理事長を務められ、財団の運営・発展、そして子どもたちの未来のためにご尽力され、大変なご活躍だったとお伺いしております。

また、ご職業を通じて一度の叙勲を受けられ、ロータリアンとしては長年クラブの発展に、そして弁護士として地域の法曹界の発展に長年に亘りご尽力された姿は皆さまもご記憶のとおりと思います。

一番のご趣味であったゴルフを心から愛され、80歳代後半、本当に90歳近くまで精力的にプレーを続けられた姿に、私もゴルフをする一員として本当に元気をいただいたことを昨日のここのように思い返しております。

91年という天寿を全うされたとはいえ、あまりにも突然の連絡に大変驚かされたと同時に深い悲しみに

包まれているところです。ご逝去された翌日に、佐藤幹事とともにご自宅にお伺いさせていただき、お顔を拝見させていただきましたが、優しく穏やかな表情でお眠りになっておりました。

ここに釧路ロータリークラブ会員を代表して泉先生のロータリアンとしての64年に亘るご活躍に敬意と感謝を表すると同時に皆さんそれぞれが先生とともに過ごした時間、先生との思い出をゆっくりかみしめながら哀悼の誠をささげる時間といたしましょう。

泉先生、本当にお疲れさまです。ゆっくりとお休みください。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

悲しいお知らせでございます。昨年は清水幸彦先生、そして泉敬先生と、大ベテランと言われる、そして釧路ロータリークラブの礎をつくった、また支え続けたお二人がご逝去されたことで、残されたわれわれは先生たちから教えていただいたこのクラブに対する思いをしっかりと胸に抱きながら、良いクラブを作って行こうと私自身、そう決意を新たにさせていただきました。

そして、本日は、上期を振り返ってという例会となっております。位置付けとしてはクラブ協議会となっておりますが、後ほど私を含め三役、大委員長より上期の振り返りをさせていただきますけれども、同時に下期に向けての決意も新たに皆さまにお伝えさせていただきたいと思っております。ぜひ、皆さまにとってもクラブにとっても、本日も有意義な時間を過ごしてまいりましょう。本日もどうぞよろしくお願い申し上げます。

ます。

## 幹事報告 佐藤 貴之幹事

皆さん、こんにちは。幹事報告になります。前回の議事録が出来上がりましたので掲示板に掲示しております。ご確認をお願いいたします。能登半島沖地震の募金ですが、もうしばらく継続させていただきたいと思っております。皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。続きまして、先ほどメールでもご案内させていただきました2月1日の節分例会、夜間例会のご案内ですが、この出欠が1月29日までとなっております。皆さま、ご確認をよろしくお願い申し上げます。以上、幹事報告です。

## 泉 敬君に対しました黙祷

1月13日にご逝去されました泉敬様のご冥福をお祈りし、黙祷をささげたいと存じます。

## ご挨拶

### 荒井 剛君

過日、執り行われました当弁護士法人特別顧問・泉敬の通夜、葬儀に際しましては多数のメンバーにご参列いただきました。改めて感謝申し上げます。

## ■本日のプログラム■ 上期を振り返り下期に向けて

### 後藤 公貴会長



皆さん、こんにちは。下期12月31日までの当クラブの事業、活動に対しまして皆さまのご協力によりまして無事につつがなく全てが終了したことをご報告申し上げますとともに、心からの感謝とお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

全てがこの一言、「どうもありがとうございました」に尽きるのですが、多少、振り返りをしながらご報告させていただきたいと思っております。

私どもの年度は、本格的にスタートさせていただいたのは、4月15日、紋別市においての第2500地区の地区研修協議会の参加からでした。この際は、30名を超えるメンバーにはるばる遠くの紋別に來ていただきまして、ホントに楽しい時間を過ごさせていただいたと同時に、「ありがたいな」という気持ちと「しっかりやらなければ」という決意が入り混じった複雑な思いで帰って来たのを覚えております。

また、6月8日には、第2500地区で初めての試みとなりました「ガバナー補佐によるクラブ協議会」、それも年度が始まる前にクラブ協議会を行って、各クラブが次の年にどんな取り組みをして行くのか、どんな目的・スローガンを掲げて活動して行くのか、を確認する初めての試みを行ってきました。いろいろとご意見・ご批判もあったようには思いますけれども、私個人としては、事前に地区が、クラブ協議会で各クラブの状況を把握しながら、そこに的確なアドバイスや的確な助けをしていくのは大事なことだと思います。今年以降はどうなるか分かりませんが、おそらく続いて行くこととなりますので、次年度以降の皆さんは事前の準備が必要になってくると感じさせていただきました。

そして7月3日より本格的に、いわゆる後藤年度がスタートいたしました。音別での表敬訪問例会から延8日間、2週に亘っての表敬訪問例会に参加をさせていただきました。また、すぐにガバナー公式訪問がこの週に第7分区の釧路からスタートしております。鶴見ガバナーもその時は緊張されていて、地区内の全てのクラブで、そのクラブに合わせて内容を変えてお話をするという決意を伺いました。おそらくそうだと思うのです。大変な努力をされる方という印象を持たせていただきました。

7月22日には紋別でロータリー財団米山セミナーがあって、7月29日には第7分区の事業ではありませんが全道中学親善硬式野球大会が2日間開催されました。

9月30日には「岸壁炉ばた」で野遊会を行い、10月7～8日には2500地区の地区大会がこれも紋別で開催され、こちらにも30名のメンバーで参加をしました。10月14日はライラセミナー、10月21～22日は地区補助金事業で釧路湿原を体験する子どもたちを連れての事業を開催させていただきました。

11月11日は、子クラブである網走ロータリークラブの70周年記念式典に参加をさせていただき、私が生まれて初めてとっていいくらい緊張をしました。壇上に3人が座るのですが、市長がいてガバナーがいて僕がいるのです。3番目に挨拶をさせられて、口から心臓が出るくらいの緊張をしました。ちなみに、僕はいつも緊張をしていますからね。勘違いのないように。

11月25～26日にはロータリーカップアイスホッケー大会、12月3日から6日まで台北中央ロータリークラブの周年の記念式典に参加をして、12月14日にはクリスマス家族会に100名のメンバー・ご家族に参加させていただきました。ざっと、このようでした。そして、上期は今日で25回目の通常例会を開催させていただいております。

全ての委員会、全ての会員にご理解とご協力を賜って

いることはもちろんなのですが、特に私が大事にしている親睦と交流の機会をホントに楽しく設えていただいている親睦活動委員会の皆さん、そして私の無茶振りとも言いませんが私の思いをしっかりと反映して例会プログラムを作っていただいているプログラム委員会の皆さん、そして、前半の忙しい思いをしていただきました青少年奉仕委員会の皆さん、本当に皆さんのお陰でつつがなくコロナ明けの事業をしっかりと行っていただくことができました。そして今後、下期に向かっていろいろ助けをいただくこととなります。

そして、次年度も本格的にスタートしてまいります。これから次年度の役職に就かれる方も多いでしょう。今年、次年度と、うまく両輪のバランスの中で一生懸命クラブのために、会員のために、そして自分のために頑張っていたいただけるような雰囲気作りを下期に心掛けてまいりたいと思っております。

最後になりますが、下期の私の掲げる目標は、スローガンのとおりの目標を継続してまいりますのですけれども、今後の未来に向けて、3年後に開催される90周年、13年後の100周年に向けてクラブの土台としっかり整理整頓をしながら、未来に向けて皆さんがこのクラブで楽しんでいただける土壌を皆さんのお話を聞かせていただきながら作ってまいりたいと思っております。具体的には中長期ビジョンをしっかりと描いたなかで、とかく単年度・単年度に切れがちなこのタスキを継続してつないで行けるような取り組みも行ってまいりたいと思っております。

何はともあれ、皆さんのご協力なくしては今後の私の年度だけに留まらず、今後の未来の釧路ロータリークラブの発展はありません。ぜひ、私、次年度、そして次々年度の荒井君の代にも皆さんのご協力をお願い申し上げます。引き続き、下期もよろしくお願ひ申し上げます。

ありがとうございました。

### クラブ運営委員会 得地 哉委員長

皆さん、こんにちは。クラブ運営委員会委員長の得地です。

先ほどの後藤会長のお話を聞きながら、いろいろあったなあと思い出しておりました。早いもので、今日が予定者理事会ということ。予定者段階から1年も過ぎていて、あと半年しかないのだというイメージを持ちました。

後藤会長のお話にもありましたが、皆さまのご協力のうえに成り立ってはいるのですが、われわれ大委



員会に所属している各小委員会の正副委員長と委員会メンバーの皆さまに大変よくやっていただいています。理事会で発表するくらいで私は何もしていない状況です。助けられているのが現実です。

出席委員会も今日は正副が来ていませんけども、とても苦勞して毎月の出席表を作っています。あのリストを作るのも、私がエクセルの表を見たら、いじりたくないものですが、他の方の力を借りながらやっております。引き続き出席委員会には頑張っていたきたいと思っております。

親睦活動委員会については、濱口委員長がドMぶりを発揮して自ら率先して、いろいろなことを全部自分でやろうということで行っております。なによりも、新入会員の方を優先的に親睦委員会に入れていただいているので、その中で新入会員の方同志、そして委員会内の結束が深まって、非常に明るい委員会をやっていただいております。私も委員会に参加させていただくのが楽しみで、行った際には笑いがあふれていて、この中でいろいろなアイデアが出て来るのだなど実感しています。その中に小船井パストガバナー、脇さんとか重鎮の方も混じってやっていただいて、お二人に司会までしていただいたのは本当に感謝しかありません。ありがとうございます。

プログラム委員会は負担が重いと思うのですが、正副委員長とメンバーの方ですが、特に八幡委員長には引き出しの多さを感じさせていただいております。いろいろな引出しを持っていて「こういうの、あります。これもあります」とアイデアを持って来てくれています。ホントに楽しみで。講師の方との交渉とかを全部やっていただいて、私はいらっしゃった時に挨拶するくらいで、何もしていないような状況です。

上期を振り返ると、皆さんに助けられて私は何もせずに居させていただいていると思っております。もっと私のほうに振っていただいても結構なので、今後とも各委員会には頑張っていたきたいと思っております。

私にひとつ心残りなことは、野遊会に親睦委員会の正副委員長が参加できないということで、どうしても私に出してほしいと。私も同日、どうしても札幌に行かなければいけない状況でしたから、お酒を飲めない野遊会はなんてつまらないのだろうと、それだけが心残りな上半期でした。

下半期もどうぞよろしくお願ひいたします。ありがとうございます。

### クラブ広報・会員組織委員会 横田 英喜委員長

クラブ広報・会員組織委員会委員長の横田です。

上半期、ありがとうございました。自分の委員会に属している委員会は、クラブ会報・雑誌委員会。正直に言うと、例会では写真を撮るくらいのイメージしか



ないと思うのですが、沢田委員長は急遽登板の委員長だったにも関わらず、沢田委員長の真面目な性格を生かしてこの昼の例

会で録音した物から議事録起こしを業者の方がしていただいて、それをチェックしてつなげることを1週間以内に行うという裏方の作業が委員長にはあるのですけれど、それを時間・日程に遅れることなく真面目に応えていただいて、幹事とのやり取りを毎回見させていただいて、すごく感謝をしているところです。ありがとうございます。

もうひとつの会員増強・選考・職業分類委員会。先ほどまで瀧波委員長がいて、連携がとれていないなと思いつつ、また、前回発表した際と同じようにいなくなっています。

決して仲が悪い訳ではないのです。動いている話は聞いております。先日、メールで流れたと思いますけど、職業分類が4つ増えたことがありました。想定としてその4名の方が入るのかもしれないと、そのように動いております。報告は本人からではないですけど、ある方を通じてありました。瀧波委員長も大変真面目な方ですので、与えられた仕事は必ずやり遂げる意識を持っているのを感じていますので、安心して任せていられるのが現状であります。

クラブ研修委員会。舟木委員長は自分が副幹事になった時の会長だったので、こちらとしては大先輩、恩人、自分がいまロータリーにいるのも委員長のお陰だと思っております。その舟木委員長率いる炉辺会合があります。こういう例会では円卓に話す方が同じく固定してしまうと思います。それを炉辺会合は小人数にして、違うメンバー・違う世代の方と話せる貴重な機会です。テーマを与えられて話すのも、そういう機会を利用して皆さんで親睦を深めていただければと思います。下期ももう一回ありますので皆さんに参加していただいて、もっと深いロータリー活動にしていきたいと思っております。

もうひとつ、自分からお伝えしなければいけないのは、会員増強もあるのですが退会防止も重要なことだと思います。一緒に入った方、同業者団体では来ていなくてもロータリーには来ていない方がいるかもしれませんが、そういう方に「来てください」と言わなくても声を掛けることによって、また来ていただけるキッカケになればいいと思いますので、そういう方がおりましたら皆さん声掛けをお願いしたいと思います。

これからの下期、よろしくお願いいたします。ありがとうございます。

## 奉仕プロジェクト委員会 岩田 信一委員長

皆さん、こんにちは。奉仕プロジェクト委員会の岩田です。よろしくお願いいたします。



始まりは少年野球大会。早々に大変

だったのですけれど曾我部委員長、小野寺副委員長のお陰で、私はただ参加するだけで無事に終了することができました。

次に、パレスボールの視察例会は中村司さんが一生懸命にやってくれたお陰で、これも私はただ参加しただけで無事に終了することができました。

田中委員長の湿原のほうは2日間、小学生を対象に行いました。こちらも木下さんのお陰で無事に成功して終了することができました。本当にありがとうございます。

続いて、高校生のアイスホッケーロータリーカップは私も経験したのですが、林君が委員会のメンバーだったのでいろいろやっていただいたお陰で無事に終わることができました。

コロナの後でこんなに事業があるとは思っていませんでした。去年の吉田委員長の時は「たいした楽だ」と言っていたのですが、こんなに大変だったとは思っていませんでした。下期でもあと2回あるようなので、こちらも正副委員長、よろしくお願いいたします。

僕のほうは、ただ参加しただけで何もすることはなかったのですがホントに良かったと思います。下期もよろしくお願いいたします。

## 佐藤 貴之幹事



皆さん、こんにちは。幹事からの挨拶ですが、後藤会長が仰っていましたが上期は感謝に尽きると思っております。円滑なクラブ運営に

つきましては、皆さまのご協力なくして考えられないと思っておりますので、下期も上期同様に皆さまのご協力をお願いしたいと思っております。

私、幹事としての上期の反省と下期に向けての話ですが、中身的には後藤会長と共にしておりますので、後藤会長と変わらないのですけれど、後藤会長の側近として近くにいる立場から言わせていただきます。後藤会長がいろいろな所で偉業を成し遂げる、大絶賛される話を本当はしたいのですけれど、後藤会長から、私が後藤会長のそういう話をすると、皆さんの前でス

ベル。スベツテいるのにずーっと話をすると、後藤会長をいじっているようにしか聞こえない、と話されました。

ただ、先ほど後藤会長が話された網走の周年の祝辞の話ですが、あれはホントにすごい。私が携帯で録画したのでどこかで機会があればお見せしたいのです。同席されていた吉田潤司パストガバナーも「後藤会長がスゴイ挨拶をされていた」と言っていたのです。本当に会場が後藤会長でひとつになるようでした。

祝辞は普通、皆さんが同じような中身で次々に話すと思われ、皆さんが飽きてくると思います。最後に話されたのが後藤会長でしたが、皆さんが「ゲーッ」と引き付けられていて、その後の懇親会では皆さん、来る方来る方が後藤会長に「いや、すごいね!」、両サイドにいた葎本パストガバナー、漆崎パストガバナーが「おたくの会長、すごいね!」と話されていて、私は「どうだ、これがウチの会長だ」みたいな、その時の思いを伝えたいのですけれど、後藤会長からNGが出ていますので。話してしまいましたができればそういう話をさせていただければと思っています。

下期につきまして、だいたいクリスマスが終わると「その年度が終わりだ。よかったね」と言われるのですが、そんなことはありません。例えば、プログラム委員会であれば、今後も毎週プログラムがあります。親睦委員会であれば毎月、夜間例会があります。濱口委員長に関しては、大山さんと私が出勤する前のお正月から新年交礼会の準備をさせていただいております。またすぐ来月に夜間例会があります。出席委員会も毎週きちんと集計して活動しております。なので、私たちに終わった気持ちはないのです。次年度が始まると、今年度がどうしても少しずつ薄れていく感じがありますので、私たちは忘れないようにしっかり運営して行こうと思います。

私の出席率は、ひどい時は300%という時もありました。東堂幹事予定者には頑張っただけだと思います。

それでは、下期も皆さまにご協力をお願いしたいと思います。

以上です。ありがとうございます。

## 樋口 貴広副会長



皆さま、こんにちは。私からは、常に陰の役、サポート役の副会長という立場に徹してはいるのですが、上期下期含めて一番の仕事は、いつものように例会と理事会の司会をする仕事があります。なんとか皆さまのご協力がありまして、大きな失敗もなく進めてこられたと思っています。

今年、四大委員長の方は「理事が初めて」ということで、うまく行くかどうか不安なところもあったのですが、これも皆さまのご協力と四大委員長の皆さまの能力とでうまくやって来られたと思いますので、これからも引き続きお願いしたいと思います。

私の副会長の仕事は会長をサポートすることが一番大事と思っていたのですが、全然、私がサポートする必要がなく、準備期間からするとほぼ1年ですが全て一人でできる方でしたので、何の苦労もなく「いいのではない」くらいのことで進んできました。多分、下期も後藤会長はどのように何の問題もなく進めて行くと思っていますので、私としては非常に楽な副会長です。

一方、幹事です。今も皆さんは感じられたと思いますが、私は一年以上、幹事のサポートを続けております。残りの半年から決算まで幹事のサポートは続くと思っています。そこはしょうがないと思っていますので、そこを第一の仕事と考えて頑張ったいと思っていますので、最後まで皆さまのご支援ご協力をお願いいたします。

以上です。ありがとうございます。

(点鐘)

## 本日のニコニコ献金

■舟木 博君 遅くなりましたが、台北中央ロータリーの周年の途中 台南・嘉義により、八田与一のダムを見学してきました。

■佐藤 貴之君 下半期も宜しくお願い致します。

今年度累計 388,000 円